

家族村など3施設の指定管理

# 「選考の白紙撤回を」

落選のNPO 宇佐市に求める

年から、家族村のほか安心院B&G海洋センター、安心の里交流施設を指定管理。来年3月に契約が切れるため、市は10月、選定委員会で3社の中からレシーングカート場などを運営するガリレオレーシング(本社・同市安心院町)を選び、12月議会に議案を提出している。

宮田静一会長によると、①家族村の宿泊稼働率は3倍に増えた②利用者の2割は農村民泊関係者③公募前に施設からの退去を求められた―とし、今回の選考はGTの運営努力を認めず、不当な扱いを受けたとしている。

市は7月、公有財産検討委員会で「家族村などの指定管理は公募」と決めた。そのため市は「安心院支所職員が、同連合会に『選考に漏れた場合、家族村管理棟からの立ち退きを視野に入れてほしい』とアドバイスしただけ」と反論している。

【大瀧美知朗】

農村民泊などを運営するNPO法人・安心院町グリーンツーリズム(GT)研究会を母体とする「安心院長期休暇研究連合会」は5日、宇佐市営の宿泊施設「家族旅行村安心院」など3施設の指定管理公募で落選したのは納得できないとして、同市に「選考の白紙撤回」を求めた。議会には「議案の否決」を要望した。同連合会は2007